

## ハウス・ウィン八王子 地域連携推進会議 議事

1. 会議名 ハウス・ウィン八王子 第1回 地域連携推進会議

2. 開催日時

令和8年2月18日（水） 11:00～12:30

3. 開催場所

ハウス・ウィン八王子 1階交流室

4. 出席者

明日の八王子地域連携推進会議に参加される方

社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会 児童養護施設 双葉園 I・F 様

ハウス・ウィン八王子 管理者 深澤 知佐

株式会社ケアサポート・ウィン 村松 良記

5. 議題

- ①グループホームの運営状況報告
- ②利用者の支援状況および課題
- ③医療・福祉・地域との連携状況
- ④事故・トラブル・クレーム発生状況
- ⑤防災・防犯体制の確認
- ⑥その他意見交換

6. 議事内容

(1) 運営状況報告：村松より

現在の入居者数：10名

【職員体制】

管理者 1名

サービス管理責任者：1名

非常勤世話人：8名

非常勤生活支援員：4名

## 職員体制その他

令和8年4月サービス管理責任者実践研修修了予定

(1) 直近の運営状況（生活支援、健康管理、日中活動状況）について報告(深澤より)

ご利用者様の生活は概ね安定しています。健康管理については、大きな問題はありません。

現在、訪問診療は8名。訪問看護は5名の方が受けられています。

日中活動については、個々の特性に応じた作業を実施し、生活リズムの維持につながっています。

(2) 利用者支援の現状と課題（深澤より）

戸建てのため、ご利用者様同士の距離が近く、生活リズムや生活習慣の違いからトラブルになりそうな場面があります。ご利用者一人ひとりの意向を尊重しながら、過介助にならないよう支援を進めていきます。

(3) 医療機関との連携状況（村松より）

2025年よりおつき在宅クリニック様と医療連携体制を整えさせていただきました。

おつき在宅クリニック様は精神科・内科の訪問診療をされており、オンライン診療も対応して下さるため特に当ホームで通院が苦手な精神障害の方に対しての医療サービスがしやすくなった。

あわせて調剤薬局との連携も図り、いつでもお薬を届けて下さるため、ホーム運営をしている我々としてもとても頼りになっている。

(4) 事故・トラブル・クレーム状況

事故報告書件数 1件（服薬忘れ）

ヒヤリハット件数 0件

クレーム 3件

- ・世話人のタバコの臭い
- ・世話人の消灯時間の話声
- ・世話人味噌汁茶碗の間違え

(5) 地域との関係・周知活動

2025年は特になし

(6) 防災・防犯体制の確認

BCP計画に基づき社内訓練・研修を実施。その内容を各拠点で周知しております。

(7) ご参加者からのご意見・ご要望

児童養護施設を卒園した方を、入居させていただき、グループホームが受け皿になってくださりありがたいと思う。

特性の部分で課題がある方でも、サポートを受けられたり、行政や医療に繋がってもらえるのが助かっている。開かれた施設といっても、施設で暮らすご利用者が望まない場合もあり、地域の全ての人に理解してもらえないのは難しいと思う。

自然なご近所付き合いを通して、施設であるということを知っていただき、地域と交わっていただけたいのではないかと思う。

## (8) ハウス・ウィン八王子 見学

### 7. まとめ (村松より)

今後について、滞在型アパートタイプのグループホームは、現在の反響から見ても引き続き高いニーズがあると捉えています。今後も各行政機関と連携・相談を行いながら、計画的な新規拠点開設に向けて検討を進めていく方針です。

また、近年は障害者グループホームにおける支援の質の低下が課題として指摘されており、当事業所では本年よりeラーニングによる研修体制を整備しています。今後はこれに加え、特に虐待防止に関する研修を重点的に強化していく考えです。

さらに、自然災害の発生が増加している状況を踏まえ、多摩川に隣接する拠点が多い特性から、BCP計画に基づいた避難訓練等の防災対策も一層強化していきます。

当社は 2023 年に精神特化型訪問看護ステーション「ハートフル・ウィン」を開設しました。長期入院患者の地域移行を支える受け皿として、生活面・心身面の双方を支援できるアパートタイプ滞在型グループホームの必要性を感じたことが背景です。今後は、より精神に特化したグループホームの運営も視野に入れ、地域における質の高い社会資源の提供に努めてまいります。

次回会議は令和9年2月頃に開催予定。

### 8. 閉会

12時40分、閉会

署名欄

事業所名	氏名
双葉園	I・F(イニシャル掲載希望のため)
ハウス・ウィン八王子	深澤 知佐
株式会社ケアサポート・ウィン	村松 良記